

2007年10月22日

協和発酵工業株式会社
キリンファーマ株式会社
キリンホールディングス株式会社

協和発酵グループとキリングループの戦略的提携について

～ 医薬事業を中心とした提携により両グループの強みをいかし、シナジーの最大化を目指す～

協和発酵工業株式会社（社長 松田譲、以下協和発酵）とキリンファーマ株式会社（社長 浅野克彦、以下キリンファーマ）、キリンホールディングス株式会社（社長 加藤壹康、以下キリンホールディングス）は、2007年10月22日、両グループの事業全体を対象とした戦略的提携について合意に達し、統合契約書を締結しました。両グループは、相互の強みを生かした戦略的な業務提携を推進し、競争力強化や経営効率の向上、シナジーの最大化を図り、さらなる成長の実現による企業価値の向上を目指します。

提携の柱として、協和発酵とキリングループの医薬事業会社であるキリンファーマを統合し、シナジーの早期創出を図ります。両社の強みであるバイオテクノロジーを基盤とし、医薬を核にした日本発の世界トップクラスの研究開発型ライフサイエンス企業を目指します。

両グループの統合に先立ち、キリンホールディングスは、協和発酵株式の公開買付けおよびキリンファーマと協和発酵の株式交換により、協和発酵の発行済株式総数の50.10%を取得する予定です。

買付予定株式数は111,578,000株（発行済株式総数の27.95%）で、買付期間は2007年10月31日から12月6日です。買付価格は1株につき1,500円、買付けに要する資金は1,673億6,700万円を予定しています。本公開買付けに対し、協和発酵の取締役会は賛同を決議しました。

また本公開買付け成立後、キリンファーマと協和発酵の株式交換（キリンホールディングスが保有するキリンファーマ株式1株に対して協和発酵株式8,862株を割当交付する）により、2008年4月1日にキリンファーマは協和発酵の完全子会社となり、協和発酵はキリンホールディングスの連結子会社となります。さらに協和発酵とキリンファーマは、2008年10月1日をもって合併（存続会社は協和発酵）し、協和発酵キリン株式会社に商号変更します。

なお、本公開買付けによる買付け株式総数が111,578,000株に満たない場合には、本株式交換に際して交付される株式数と併せて協和発酵の発行済株式総数の50.10%をキリンホールディングスが取得することになるよう、協和発酵はキリンホールディングスに対し、2008年3月25日を払込期日として、第三者割当てによる新株発行を1株あたり1,500円で実施する予定です。

医薬品業界は、医療制度改革に伴う診療報酬改定・薬価の引下げなどによる国民医療費の抑制や、新薬の開発をめぐる競争の激化、研究開発費の負担増など、国内外ともに経営環境が激変しています。

協和発酵とキリンファーマは、ともに抗体医薬技術などを中心としたバイオテクノロジーを強みとしていることから、両社の強みを融合することにより、一層の事業強化を図ります。基盤強化と、国内外における研究・開発・製造・販売をはじめとする各分野でのシナジーの最大化により、スピード感をもったグローバルな展開で成長を加速し、新たな医療価値の提供を目指します。

協和発酵グループは、事業持株会社である協和発酵が医薬とバイオケミカル事業を、その子会社である協和発酵ケミカルと協和発酵フーズが化学品事業と食品事業をそれぞれ展開している研究開発型企業グループです。近年は、抗がん剤と抗体医薬品の開発に注力しており、抗体医薬品の抗体依存性細胞障害活性を100倍近く高めることが期待されるポテリジェント技術を開発するなど、バイオテクノロジーに特長を持つ研究開発を進めています。

協和発酵が独自に開発したポテリジェント技術の特徴は、抗体が保有する糖鎖のうちフコースという糖の量を低減させることによって、抗体依存性細胞障害活性を飛躍的に向上させ、標的、例えばがん細胞を極めて効率的に殺傷することにあります。

キリングループは、キリングループ長期経営構想「キリン・グループ・ビジョン2015」(略称：KV2015)を掲げ、酒類・飲料・医薬を事業の3本柱として飛躍的な成長を目指しています。キリンファーマはグループの医薬事業を担う事業会社で、「腎臓」「がん(血液を含む)」「免疫・感染症」を重点領域としており、バイオ医薬品メーカーとして確固たるポジションを獲得しています。また、抗体医薬品、細胞医薬品を今後の事業の柱と位置づけ、研究開発を進めています。

また両グループは、医薬事業以外にも共通する分野が多いことから、それぞれの事業統合や連携を進めます。協和発酵のバイオケミカル事業は、新会社の子会社として2010年4月までの分社化を目指し、アルコール事業および健康食品通信販売事業はキリングループの同一事業との統合に向けた検討を開始します。食品事業についてもキリングループのキリンフードテックとの事業統合を検討するほか、化学品事業は他社とのアライアンスを含めて収益の安定化と競争力強化に注力します。

協和発酵グループとキリングループは今回の戦略的提携により、お互いの強みを生かしたシナジーの最大化を図り、企業価値のさらなる向上を目指します。

添付資料：戦略的提携および本公開買付け・本株式交換の概要・・・2枚

このリリースに関するお問い合わせ先

協和発酵工業株式会社 コーポレートコミュニケーション部
TEL：03-3282-0009 FAX：03-3282-0990
<http://www.kyowa.co.jp>

キリンファーマ株式会社 総務部 総務・広報担当
TEL：03-5485-6207 FAX：03-3499-6152
<http://www.kirinpharma.co.jp>

キリンホールディングス株式会社 コーポレートコミュニケーション部 広報担当
TEL：03-5540-3448 FAX：03-5540-3550
<http://www.kirinholdings.co.jp>

戦略的提携および本公開買付け・本株式交換の概要

1. 新会社（合併後の存続会社）概要

- (1) 会社名 協和発酵キリン株式会社（英文名：KYOWA HAKKO KIRIN CO.,LTD.）
- (2) 所在地 東京都千代田区大手町一丁目6番1号
- (3) 代表者 代表取締役社長 松田 譲（現協和発酵社長）（予定）
代表取締役副社長 宗 友廣（現キリンホールディングス常務取締役）（予定）

2. 協和発酵工業株式会社 会社概要

- (1) 会社名 協和発酵工業株式会社（英文名：KYOWA HAKKO KOGYO CO.,LTD.）
- (2) 所在地 東京都千代田区大手町一丁目6番1号
- (3) 代表者 代表取締役社長 松田 譲
- (4) 売上高 3,542億円（2007年3月期・連結）
- (5) 当期純利益 126億円（2007年3月期・連結）
- (6) 資本金 267億円（2007年3月31日現在）
- (7) 主要株主 日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）、第一生命保険相互会社、
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）、農林中央金庫、
みずほ信託退職給付信託みずほ銀行口再信託受託者資産管理サービス信託
- (8) 設立年 1949年
- (9) 従業員 5,756人（2007年3月31日現在・連結）
- (10) 事業内容 医家向け医薬品、医薬・工業用原料、ヘルスケア製品、農畜水産向け製品、
アルコール等の製造・販売
- (11) 主要製品 コニール、アレロック、デバケン、各種アミノ酸

3. キリンファーマ株式会社 会社概要

- (1) 会社名 キリンファーマ株式会社（英文名：KIRIN PHARMA COMPANY,LIMITED.）
- (2) 所在地 東京都渋谷区神宮前六丁目26番1号
- (3) 代表者 代表取締役社長 浅野 克彦
- (4) 売上高 672億円（2006年12月期・連結セグメント）
- (5) 営業利益 120億円（2006年12月期・連結セグメント）
- (6) 資本金 30億円（2007年7月1日現在）
- (7) 主要株主 キリンホールディングス株式会社
- (8) 設立年 2007年
- (9) 従業員 1,270人（2007年7月1日現在）
- (10) 事業内容 医薬品の製造・販売および輸出入
- (11) 主要製品 ネスプ、エスポー、グラン

4. キリングループ（連結）概要

- (1) 売上高 16,659億円（2006年12月期・連結）
- (2) 当期純利益 535億円（2006年12月期・連結）
- (3) 資本金 1,020億円（2007年6月30日現在）
- (4) 従業員 23,332人（2006年12月31日現在・連結）
- (5) 事業内容 酒類、飲料、医薬品、健康・機能性食品等の製造・販売

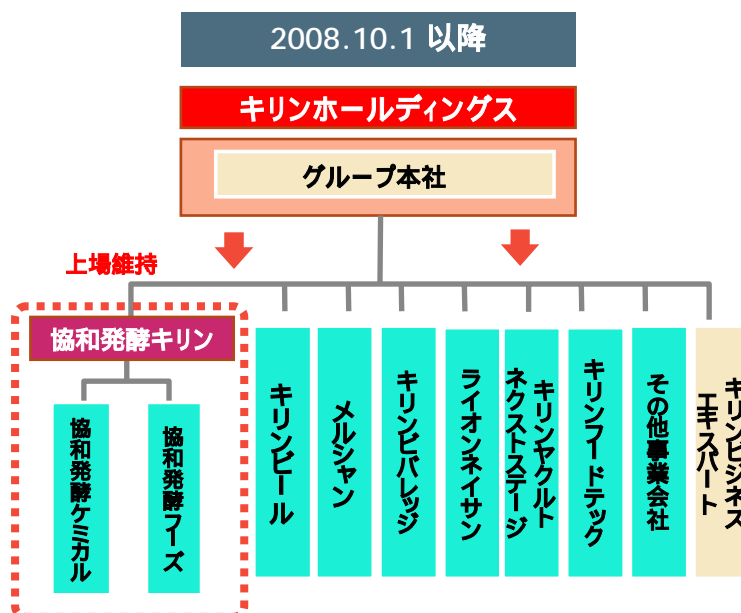
5. 今後の組織体制

本公開買付け、本第三者割当増資、本株式交換終了後、協和発酵は麒麟ホールディングスの連結子会社となる。(株式交換の効力発生：2008年4月1日)

また、2008年10月1日をもって、協和発酵と麒麟ファーマは協和発酵を存続会社として、合併する。なお、新会社は上場を維持する。

麒麟ホールディングスは、新会社の上場が維持されるべく最大限の合理的な協力を行い、新会社に対する持株比率50.10%を10年間維持することを原則とする。

< 組織図 >



6. 公開買付けの概要

- | | |
|---------------|---------------------------------|
| (1) 期間 | 2007年10月31日から12月6日まで(26営業日) |
| (2) 買付価格 | 1株につき1,500円(計1,673億6,700万円を予定) |
| (3) 買付け予定株式総数 | 111,578,000株(発行済株式総数の27.95%を予定) |

7. 株式交換の概要

- | | |
|-------------|---|
| (1) 日程 | |
| 株式交換契約締結 | 2007年10月22日 |
| 株式交換の効力発生 | 2008年4月1日 |
| (2) 株式交換比率 | 麒麟ファーマ普通株式1株に対し、協和発酵普通株式8,862株を割当交付。 |
| (3) 発行する株式数 | 協和発酵が株式交換に際して発行する株式数は、普通株式177,240,000株。
* 本株式交換は本公開買付け成立後、協和発酵の臨時株主総会における承認を条件として実施する。 |

8. 第三者割当増資の概要

上記公開買付けによる買付け株式総数が111,578,000株に満たない場合には、麒麟ホールディングスが本株式交換に際して交付される株式数と併せて協和発酵の発行済株式総数の50.10%を取得することになるよう、協和発酵は麒麟ホールディングスに対し、2008年3月25日を払込期日として、第三者割当てによる新株発行を1株あたり1,500円で実施する予定。

* 本第三者割当増資を実施する場合には、協和発酵の臨時株主総会による特別決議承認を得る予定。